

季節の行事を俳句で伝えよう！

教材：「季節の言葉」（「国語 四年」光村図書 他）

国語の教科書には季節を感じる言葉や事物、行事について紹介しているページがあります。はがき新聞を使って、自分の経験をもとに俳句に表し、四季折々の様子を感じさせましょう。



指導のねらい

私たちの心を豊かなものにさせてくれる日本特有の四季は、子どもたちにしっかりと感じさせたいものです。季節を感じる言葉や事物、行事等について、自分の経験をもとに俳句を作るとともに、その事物や行事の様子や季節を感じたときの気持ちを書くことは、語彙を増やしていくことにつながります。



評価の例

- 言葉には性質や役割による語句まとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。
(知識・技能(1)オ)
A・・・取り上げた行事等について、俳句とその説明を自分の経験を基にして書いている。
B・・・取り上げた行事等について、俳句とその説明を書いている。
- 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
(思考・判断・表現B(1)ア)
- 粘り強く経験したことから書くことを選んで伝えたいことを明確にし、今までの学習を生かして「俳句新聞」を作成しようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

◆前時まで
俳句で表す季節の行事や出来事を決めておく。

- ◆本時
- ① 導入（課題の説明） …… 5分
 - ② はがき新聞の作り方説明 …… 5分
 - ③ はがき新聞の制作 …… 30分
 - ④ 振り返り・交流 …… 10分



時間配分
(目安)

学びを広げるポイント

- 作品はミテミテ（理想教育財団助成品）に入れる。友達作品を読み合い、お互いの経験を想像することで、語彙を増やしていく。教科書に掲載されている絵や写真を見せたり、俳句や短歌を音読させたりしながら、季節のイメージを広げさせたい。

夏祭りに行きた
ときかき氷の屋
台の前で何味のシ
ロップをかけたよう
かまよったとき
のことも思い出し
ながら俳句を作り
ました。本当は、

究行者
たう全部の味にち
かせんしてど
たかたけど
食はずぎると頭が
キーンとなるので
あきうめしました
ちこ味のシロ
ぽをかけたかき氷
口ひんやりおい
しく宝石み
いにされいでした

私のすきな夏の食べ物
私はずき夏の
食べものは、なす
です。2年生のと
き、自分達で育て
たなすをおばあ
さんに料理してもら
たら、とてもおい
しかったです。

5-T-1 公益財団法人 理想教育財団

季節の行事を俳句で伝えよう！

日本には四季（春夏秋冬）があります。

教科書に載っている季節を感じる言葉や事物、行事について、自分の経験をもとに俳句に表し、友だちに伝えましょう。



教材：「季節の言葉」（「国語 四年」光村図書 他）

季節を感じる言葉や事物、行事を使って、自分の経験を思い出しながら俳句を作ります。その俳句の説明も、季節を感じる時の気持ちなどを入れながら書きます。完成したら、友だちの新聞を読み合い、四季を感じさせる言葉を増やしましょう。知らない言葉に出会ったら、くわしい説明を聞いてみるといいですね。

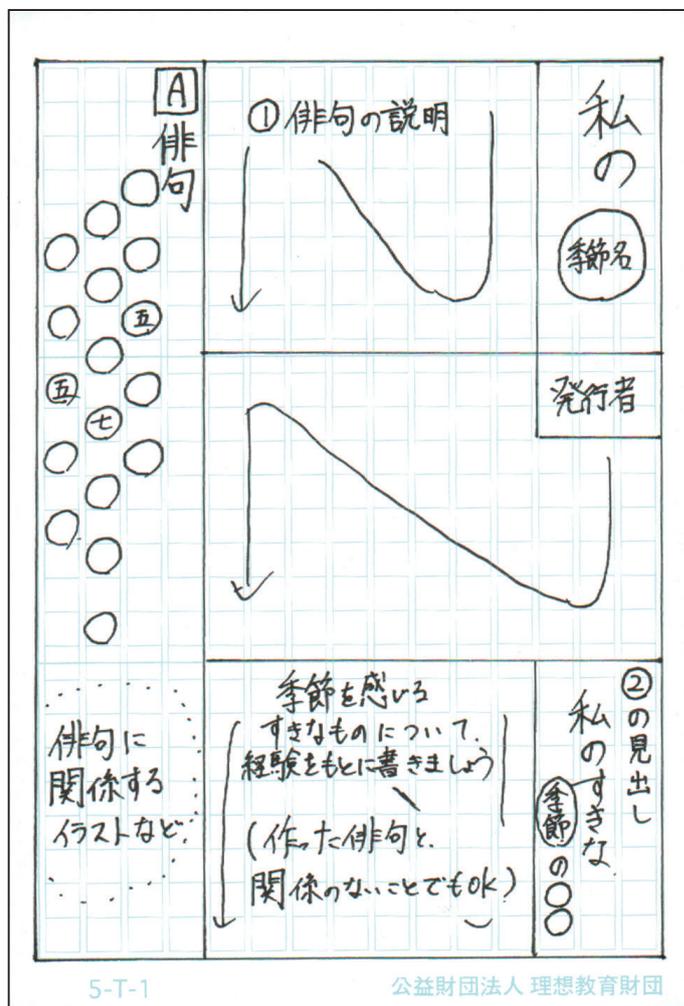
はがき新聞の作り方



- 1 レイアウトの例を参考にして、新聞の大まかなレイアウトを決めましょう。
- 2 枠に定規などを使って線を引きましょう。
- 3 発行者の欄に名前を書きましょう。（名前は横書きです）
- 4 題名は、「私の（季節）」にします。
- 5 Aには、自分で考えた「俳句」を書きましょう。空いているスペースにイラストなどを加えてもいいですね。
- 6 記事の内容は次の二つです。
 - ① 俳句の説明
 - ② 私の好きな（季節）
- 7 ①は、俳句を作っている時の気持ちや俳句に込めた思いなどを書きましょう。
- 8 ②は、季節を感じる好きなものを書きましょう。（俳句と関係なくてもいいです）
- 9 文章やイラストが書けたら、枠などに色を塗って完成させます。

準備するもの

鉛筆（下書き用）、消しゴム、ペン（黒色）、色鉛筆、定規など



5-T-1